



背景・目的

「自然共生社会の実現」に向けて、二次的自然環境における自然資源の持続可能な利用・保全に取り組み、SATOYAMAイニシアティブに賛同した政府、NGO、学術研究機関、企業、国際機関等51団体が、COP10の期間に「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)」を設立した。

国内外の二次的自然環境における自然資源の持続可能な利用・保全と、それを通じた生物多様性の保全を推進するため、IPSI運営を支援することによりSATOYAMAイニシアティブを推進する。

事業概要

- ・国際パートナーシップの運営
- ・国内外の取組事例の収集・分析
- ・メンバー等の能力開発
- ・情報発信

期待される効果

二次的自然環境における自然資源の持続可能な利用・保全、それを通じた生物多様性の保全の推進

- ⇒愛知目標及び2030アジェンダ (SDGs) の達成に貢献
- ⇒ポスト愛知目標への貢献、自然共生社会の実現

事業目的・概要等

イメージ

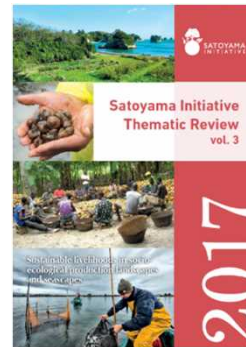
○国際パートナーシップの運営

定例会合・運営委員会等を開催し、運営方針を決定、成果を共有。メンバー数は220団体に増加。



○国内外の取組事例の収集・分析

メンバー自身や関係プロジェクトの取組事例を分析し、知見を蓄積。



○メンバー等の能力開発

SATOYAMA保全支援メカニズムや、GEFとの連携事業等の実践的事業の実施を通じて、関係者の能力を向上。



○情報発信

イベントの開催、ウェブサイトの運営、レポートの発行等により、メンバーや各国政府、研究者、国際機関等に情報を発信。

